

2月定例会総括質問（個人）



山梨 渉

「がん教育」について質問し、学校教育への導入を強く訴えました。がん教育とは、がんに対する正しい理解と認識及び命の大切さをに対する理解を深める教育です。当局からは先進事例を参考にがん教育導入を検討していく旨の答弁がありました。また喉頭がんによる喉頭摘出者への支援として、埋込型人工鼻への給付対象拡大を訴えました。朝鮮通信使については四百年祭の成果を今後につなげ、青少年交流の促進、姉妹都市を見据えた自治体間交流促進を訴えました。



馬居 喜代子

静岡型地域包括ケアシステムの構築、中でも在宅医療の充実と介護予防が重要であることを述べたうえで、質問しました。地域包括ケアシステムとは住み慣れた地域でできるだけ長く住み続けられるシステムのこと、つまり失われた地域のきずなを取り戻す新しいまちづくりであると訴え、どこかの部署だけが頑張るのではなく、4月に設置される包括ケア推進本部を中心に全庁上げて取り組まなければ 2025年問題は解決できないことを、強く訴えました。

2月定例会常任委員会

井上 智仁【都市建設委員会】



都市局においては空家対策事業などの新規事業をはじめ、都市計画、交通政策、公園整備、住宅関係等の事業に約180億円を計上、また建設局においては建設業の担い手確保事業をはじめとした道路・河川整備事業として約2,400億円を計上した平成28年度予算案が審議されました。いずれも市民生活に密着した必要不可欠の事業であり、計画通りの進捗を求める意見が大半を占め、共産党を除く会派の賛成多数により、可決すべきものと決しました。

都市局においては空家対策事業などの新規事業をはじめ、都市計画、交通政策、公園整備、住宅関係等の事業に約180億円を計上、また建設局においては建設業の担い手確保事業をはじめとした道路・河川整備事業として約2,400億円を計上した平成28年度予算案が審議されました。いずれも市民生活に密着した必要不可欠の事業であり、計画通りの進捗を求める意見が大半を占め、共産党を除く会派の賛成多数により、可決すべきものと決しました。

大石 直樹【企業消防委員会】



市民の大切なインフラ事業であることから引き続きの安定事業を要望しました。

4月から独立行政法人化する静岡病院に関して、より患者目線の医療に邁進して欲しい旨を要望するとともに、清水病院は診療科の安定を訴えました。消防局については 4月から3市2町の広域化消防になり、活動内容も多岐に渡るので体制の強化を訴えました。上下水道局は

あなたのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

● 公明党控室  
〒420-8602 葵区追手町5-1  
TEL 054-254-2111内線(4533)  
直通TEL・FAX 054-254-2769  
● ホームページ  
www.shizuoka-komei.jp  
● メールアドレス  
komeitoshizuoka@ka.tnc.ne.jp

● 岩崎 良浩  
〒421-0115 駿河区みずほ三丁目8-3  
TEL・FAX 054-258-4136  
携帯電話／090-3957-0002

● 井上 智仁  
〒422-8072 駿河区小黒2丁目10-40-304  
TEL・FAX 054-287-2031  
携帯電話／090-4239-7223

● 馬居 喜代子  
〒420-0067 葵区幸町2番地の19  
TEL 054-221-0386  
FAX 054-221-0387  
携帯電話／090-5032-0346

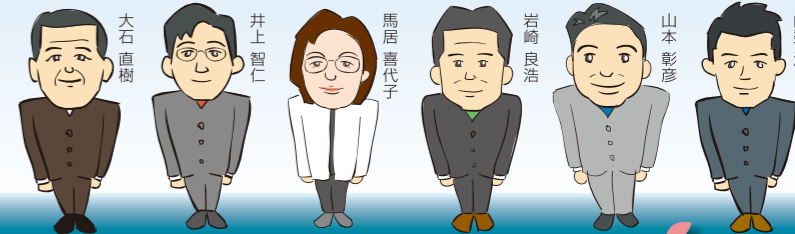
● 大石 直樹  
〒424-0928 清水区緑が丘町21-9  
TEL・FAX 054-335-7012  
携帯電話／090-1725-6633

● 山本 彰彦  
〒420-0876 葵区平和2丁目24-14  
TEL・FAX 054-271-2244  
携帯電話／090-1561-7775

● 山梨 渉  
〒424-0204 清水区興津中町1356-25  
TEL・FAX 054-368-5540  
携帯電話／090-3527-1272

KOMEITO SHIZUOKA-CITY

公明党静岡市議会だより



平成28年2月定例会が2月10日から3月18日まで行われ、平成28年度当初予算案が可決されました。本定例会では、公明党静岡市議会の主導・発案により「静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例」を議員発議条例として上程。全会一致で可決されました。また、2月22日の本会議には、市長をはじめ、市議会議員、幹部職員全員がエスパルスを応援するためにユニフォームを着用しました。

代表質問



公明党静岡市議会 代表質問 岩崎 良浩

平成28年度の予算編成にあたり会派を代表して質問をいたしました。27年度は田辺市政2期目のスタートの年であり「歴史文化のまち」と「健康長寿のまち」の実現を目指し、第3次総合計画の実行1年目でありました。公明党はこれまで「子ども医療費助成の拡充」など子育て支援策を強く訴えてきました。更に新年度に向けては、女性そして若者が輝く「人が生きる」まちを創り上げることを主眼においた予算要望「公明60の提案」を行いました。急激に進む人口減少、少子高齢化の波は待ったなしであり、本市活力を維持・向上させる持続可能な都市経営と全ての市民が幸せに生活できる行政運営の推進を訴えました。

平成28年度当初予算には公明党の要望が大きく反映されました。 そのいくつかを紹介させていただきます。

● 平成28年度当初予算の概要

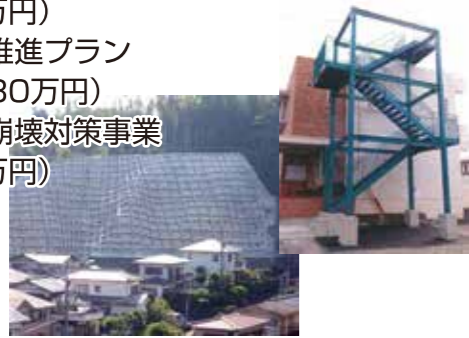
一般会計2,822億円 (対前年度 3億円減 △0.1%)  
 全会計 5,978億円 (対前年度 59億円減 △1.0%)



【 安心をつくる 】

■ 災害に強いまちづくり

- 津波避難施設整備(津波避難タワー)  
(1億893万円)
- 安倍川・富士川洪水ハザードマップ作成事業  
(1,030万円)
- 浸水対策推進プラン  
(2億1,630万円)
- 急傾斜地崩壊対策事業  
(6,800万円)



■ 環境にやさしいまち

- 静岡型水素タウン促進事業(1億195万円)
- 南アルプスユネスコエコパーク  
管理運営計画推進事業  
(2,410万円)
- マツ材線虫防除事業  
(三保松原)  
(2,981万円)



■ 生活に密着した安心・安全のまち

- 消費者行政強化促進事業経費(501万円)

【 元気をつくる 】

■ 子育てしやすいまち

- 待機児童ゼロに向けた取り組み  
(20億5,440万円)
- 不妊治療助成事業  
(2億3,782万円)
- 放課後児童クラブの充実  
(8億6,302万円)



■ 子どもが輝くまち

- こころの教育支援事業(5,408万円)
- トイレリフレッシュ事業(3億8,710万円)
- スクールカウンセリング事業  
(8,500万円)
- スクールソーシャルワーカー  
活用事業  
(1,619万円)



■ 誰にでもやさしいまち

- 医療と介護が連携した新たな拠点の形成(2,168万円)
- 元気いきいき！シニアサポーター事業(8,574万円)
- 認知症対策の推進(1,391万円)
- 障がい者施設整備、自立支援事業の充実(2億6,492万円)
- 生活困窮者自立相談支援事業費(3,640万円)



【 未来をつくる 】

■ 若者が輝くまち

- 事業立地促進事業補助金(4億9,200万円)
- ひきこもり対策推進事業(2,050万円)
- 「しずおか女子きらっ☆」プロジェクト  
(女性の活躍促進事業)  
(809万円)
- 農業支援の拡充  
(2億4,778万円)



■ 人が活きる都市基盤のまち

- 自転車走行空間ネットワーク整備事業  
(1億7,470万円)
- 東名新インターチェンジ整備事業  
(12億6,417万円)
- 霊園整備費  
(2,900万円)

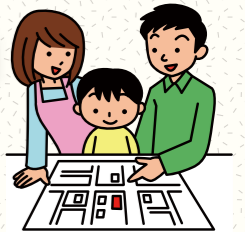


■ 人でにぎわうまち

- 「東海道歴史街道」二峠六宿まち歩き観光の推進(2,900万円)
- 歴史文化施設建設事業(2,000万円)
- 仮称三保松原ビジターセンター建設事業(5,063万円)
- 安倍川駅周辺整備事業(1億9,530万円)
- 静岡都市圏広域 DMO推進事業(3,000万円)
- 外客誘致の推進(3,257万円)
- 清水都心ウォーターフロント活性化推進事業(3,643万円)
- 海づり公園代替施設再整備事業(300万円)
- 静岡市客船歓迎事業(212万円)
- 空き家バンク構築・活用事業(770万円)



「静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例」  
が制定されました！



山本 彰彦

静岡市議会の総意による「静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例」につきまして、議会を代表し提案理由を述べさせて頂きました。この条例は、私たち会派が提案し、議会の合意形成を図りながら、条例化に向けて推進してまいりました。目的は、市民の防災意識が多様化する中で、いのちを守るために、自助・共助に対し、市民意識をさらに高めるためであります。今年は、東海地震説から40年の節目を迎えます。今後も、災害に強く誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりに全力で取り組んでまいります。